

専門看護師・認定看護師 NEWS

Vol.3

2019年7月発行



独立行政法人 国立病院機構
福岡東医療センター

がん化学療法看護認定看護師 木村 美智代
(外来化学療法室)

もり かよ
森 香予
(外科・血液内科病棟)

今月の特集はがん化学療法看護です。

がん治療には、手術療法・化学療法・放射線療法があります。

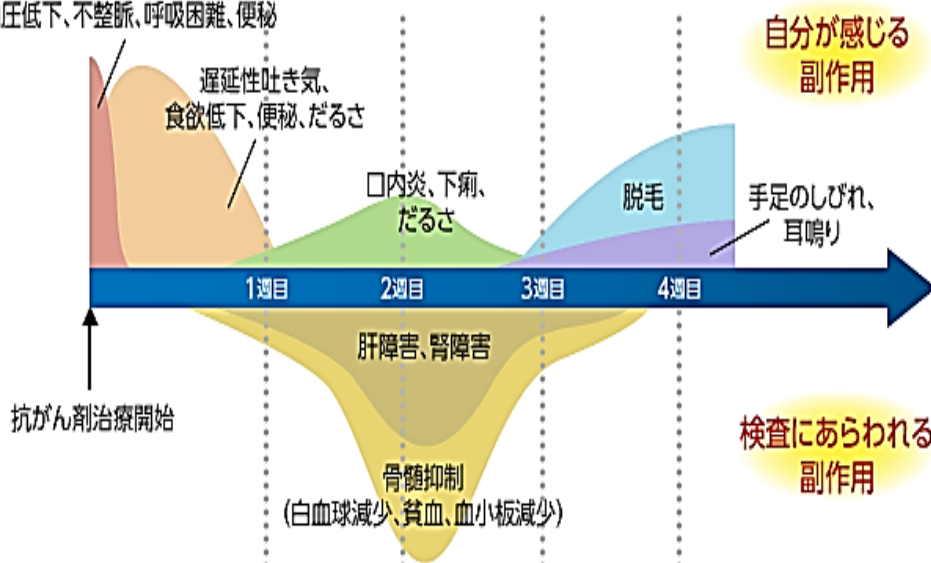
その中でも化学療法は、手術や放射線療法と組み合わせて治療効果をあげたり、がんに伴う痛みなどの症状をやわらげたりすることなどを目的として行われます。がんの種類によっては、主な治療となり、多くの患者さんが対象となる治療法です。



近年では日々新しい抗がん薬が誕生し、点滴から内服、種類也多岐にわたり、患者様にとっては治療の選択や理解が複雑になってきています。患者さんが、ご自身の治療を理解した上で、治療に臨むことができるように支援していきます。

抗がん薬の種類も変化し、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬という従来の抗がん薬とは異なる作用をする薬剤があり、副作用の観察や対応が重要となっています。

急性の吐き気、アレルギー反応、
血圧低下、不整脈、呼吸困難、便秘



一般的な抗がん薬の副作用と発現時期を示していますが、これには個人差があります。脱毛や皮疹などの外見の変化では、様々なケア方法がありますので、私たちが支援させていただきます。



患者さんが苦痛なく治療を受けていただくために「安全」「確実」「安楽」な治療の場を提供し、治療後の体調変化についてお話を伺い、細やかな観察や対応に努めています。

治療の内容や副作用の程度によっては、外来通院で治療を続けることもできます。ご自宅で安心して過ごしていただくために、院内・院外のお職種と連携を図りながら支援することを心がけております。病棟から外来や地域へと引き継ぎ、患者さんを支える継続看護へつなげていきます。

私たち認定看護師は、化学療法の正しい理解、副作用の早期発見と対応、安心できる治療環境を提供できる看護実践に向けて努めていきます。勉強会等も可能ですので、お気軽にご相談ください！

